



はじめに

三重県では、森林を県民共有の財産と捉え、これを健全な姿で次代に引き継いでいくため、平成17年10月に「三重の森林づくり条例」を制定し、この条例に基づいて「三重の森林づくり基本計画」を策定しています。この基本計画に基づいて森林・林業に係る各種施策を展開しており、この中で「森林文化及び森林環境教育の振興」を4つの基本方針の内の1つに掲げて、市町や団体等のさまざまな主体との連携による森林環境教育の機会の増大を図ってきたところです。

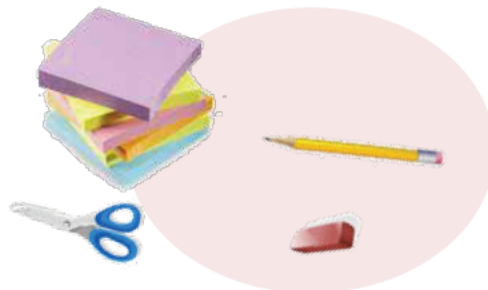
また、平成26年4月より「みえ森と緑の県民税」を導入し、「災害に強い森林づくり」とともに「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めています。「県民全体で森林を支える社会づくり」の取組の1つとして、学校等が実施する森林環境教育に取り組む際のサポートを行っています。

本書は、平成26年度に県内の学校等で実施された森林環境教育の活動事例について、学校等から提供いただいた情報をもとに編集したものです。学校等での今後の取組の際に、本書の事例を参考にいただければ幸いです。

活動事例に関してのご不明な点は、みどり共生推進課までお問い合わせください。外部講師の紹介や活動のコーディネートなど、森林環境教育全般のご相談についてもみどり共生推進課で受け付けていますので、ご連絡ください。

最後に、この場をお借りしまして、活動事例をご提供いただきました学校等の先生方、園児・児童・生徒の皆さんにお礼申し上げます。

平成27年3月 三重県農林水産部みどり共生推進課



森林環境教育

「森林内での様々な活動体験等を通じて、人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深める」(平成14年度森林・林業白書)